

飛騨地方の土偶について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/2939

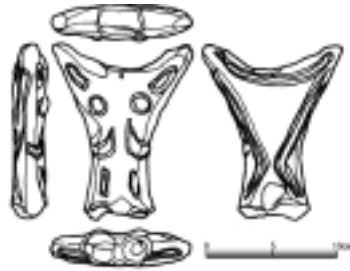
「飛騨地方の土偶について」

上田 康子

岐阜県飛騨地方では、体部が板状・出尻・円柱状の土偶が存在していた。その内、最も多いのは板状土偶であり、九割以上を占めている。板状土偶でも形態には大きな隔たりがあり、山形土偶に類似、ばんざい形、腰部を強調、体部が分厚く臀部の膨らみを持つ、身体の両面に乳房を持つ、脚部が立体的であるという要素で分類できる。さらにそれらが退化した形態も存在している。

このうち、山形土偶類似・脚部が立体的である板状土偶は南方、出尻土偶とその要素を持つ板状土偶は東方、そして腰部を強調する板状土偶は北方との関連を窺わせる。また、板状土偶でも出尻・円柱状土偶の要素を兼ね備える形態も存在している。これらのことより、飛騨地方の土偶はそれ自体が特徴的な形態を持つというもので

はなく、他地域から流入してきた要素の組み合わせ方に地域性が存在していると考えられる。



岩垣内遺跡出土 板状土偶